

## 第10回これからの北海道立近代美術館検討会議 議事録

日時 令和5年(2023年)5月24日(水) 15時00分~15時30分

場所 Web会議システム ZOOM

出席者 別添「出席者名簿」のとおり

- 議題 1 これからの北海道立近代美術館検討会議開催要領の一部改正  
2 北海道立近代美術館リニューアル基本構想(中間報告)案

### 議事

- (1) 議題1 これからの北海道立近代美術館検討会議開催要領の一部改正

ア 事務局から資料1に基づき説明  
(特記事項)  
・なし

イ 質疑応答等 (有・無)

- (2) 議題2 北海道立近代美術館リニューアル基本構想(中間報告)案

ア 事務局から資料2、3に基づき説明  
(特記事項)  
・なし

イ 質疑応答等 (有・無)

(佐々木幸委員)

資料3の1ページ1番下、「美術の専門教員を配置した学校のみにはしか事業が展開できないと思われる記載内容は見直し、美術教員を配置していない道立高校にも普及可能な事業内容について、今後の会議の中で検討していただきたい。」という意見があったが、意見をいただいた方は資料のどの箇所を指して、美術の教員がいる学校だけを対象にしていると受け取られると考えたのか。

(事務局)

資料2の9ページの「(4)教育普及事業」の「イ学校連携事業」の「○学校との連携」の部分について意見をいただいている。

(佐々木幸委員)

意図としては、美術の教員がいる学校だけに限定はしていないということで理解した。

(佐藤委員)

資料2の8ページ「(3)展覧会」の「イ特別展示」の「貸館」についての文章が、「道民の皆様には様々な美術を鑑賞していただくために、展覧会を貸館として実施しています。」となっているが、ここは展覧会の開催手法を明確にするため、「貸館による展覧会を実施しています。」という表現にした方が良いのではないか。

(事務局)

御指摘いただいた方向で修正を検討する。

(佐々木亨委員)

資料3の2ページで館長の人選について2つ意見があるが、今回の資料全体を通して、意見の概要は、いた

いただいた意見すべてを網羅していると考えて良いのか。館長の専門性を強く望むという意見は、全体のうち2件あったという認識で良いのか。

(事務局)

そのとおり、いただいた意見のうち2件あったということ。

(佐々木亨委員)

美術館の体制の根幹に関わる本質的な意見なので、とてもありがたいと感じている。

もう1点、同じく2ページの下から3つ目、「観光資源となるような場所を目指すべき」という意見に対して、道教委の考え方は「くつろぎの空間としての魅力を向上させる」となっているが、どの部分に記載があるのか。

(事務局)

資料2の13ページのコンセプト「ハーモニー」の部分に、「くつろぎの空間としての魅力を向上させる」と記載している。

(佐々木亨委員)

意見の主旨としては、道外からの観光客を含めたインバウンドへの対応についての意見だが、「くつろぎ」というのは、そのようなこととは関係なく来る人どなたにとってもということなので、意見と回答がずれていると感じるがどうか。

(事務局)

御指摘いただいたことを含め、改めて検討させていただきたい。

(菊地委員)

資料3でいただいた様々な意見を踏まえて検討していくと思うが、中・長期的にどのような施策を美術館で実施していくのかを検討する際に、いただいた意見の中には今後の過程にも生きるような考え方もあるので、優れたアイデアがあれば採用するなど、将来的に意見を振り返ることを考えてもらえればと思う。

第10回これからの北海道立近代美術館検討会議 出席者名簿

○ 構成員

(敬称略、五十音順)

所 属	職	氏 名	備 考
株式会社 haku	代表取締役	菊地 辰徳	
北海道大学	名誉教授	北村 清彦	
北海道教育大学釧路校	教 授	佐々木 宰	
北海道大学大学院文学研究院	教 授	佐々木 亨	
前札幌芸術の森美術館	館 長	佐藤 友哉	

○ 事務局

所 属	職	氏 名	備 考
北海道教育庁	生涯学習推進局長	村上 由佳	座長
北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課	課 長	高見 里佳	
	課長補佐	遠藤 新理	
	係 長	福土兼太郎	
	主 任	宮下 直之	
	主 事	中林 恭良	
北海道立近代美術館	副 館 長	松田 俊也	
	学芸副館長	中村 聖司	
	学芸部長	五十嵐聡美	
	学芸統括官	土岐美由紀	
	総務企画課長	今村ちぐさ	